



最優秀賞の盾を手に「ずっと表現したかったことを、やっと俳句にできた」と喜ぶ阿部なつみさん＝21日、松山市

阿部さん

（水沢高）

最優秀賞

俳句 甲子園

全国の高校生が自作の出来栄を競う第25回俳句甲子園（実行委主催）の決勝戦は21日、松山市で行われ、個人部門で、水沢3年の阿部なつみさんが詠んだ

「草いきれ吸って私は鬼の窟」が最優秀賞に選ばれた。受賞句の「鬼」は、蝦夷の一族のこと。同校2年時に授業で教わってから「ず

っと表現したかった」という思いを、最高のタイミングで17音に込めた。阿部さんは「選ばれた瞬間の気持ちは言葉にできないほどで、涙があふれ

てきた。地方大会、全国大会で合わせて詠んだ12句の中で一番思いを込めた句だったので、本当にうれしい」と喜びをかみしめる。5人一組で臨む団体は開成（東京）が海城A（同）を破って3連覇し、出場した18都道府県32チームの頂点に立った。